

個に応じたツール編

小学校学習指導要領、中学校学習指導要領

指導方法や指導体制の工夫改善により、**個に応じた指導の充実**を図ること。その際、第3の1の(3)に示す**情報手段や教材・教具の活用**を図ること。

GIGAスクール構想

多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、**子供たち一人一人に公正に個別最適化**され、**資質・能力を一層確実に育成できる教育ICT環境の実現**

ICT機器の活用により、多様な子供たちの教育的ニーズや学習状況に対応することができます。文字や音声等の設定変更や動画やアニメーション等のコンテンツ利用により、個別の学びの充実につなげることができます。



デジタル教材を活用した学び

□ アニメに沿って筆順練習



デジタル教材には、筆順をアニメで示す教材や計算の正誤を判定する教材など多くの種類があります。また、必要に応じて画面に表示される文字サイズやふりがなの設定を変更することができます。

ICTを活用することで、個人の特性やニーズに応じた学習を行うことができます。

□ アニメを視聴し個人思考



アニメーションを使ったデジタル教材は、分かりづらい部分を繰り返し再生したり、一時停止したりすることができます。児童生徒が、自身の理解度に合わせて学習を進めることができます。

児童生徒向けデジタル教材は、教科書会社が提供しているものもありますが、児童生徒の実態にあわせプレゼンテーションソフト等を使用して作成するのも効果的です。

Column コンテンツ作成のポイント！

ICTを使うと、動画や音声の記録・視聴が簡単にできます。例えば、先生が教科書を読む映像や音声も立派なコンテンツになります。聴覚が優位な児童生徒向けには読んでいる箇所が分かるような映像を、音読が苦手な児童生徒向けには、ゆっくりとした速さで音声を記録することで、個に応じたコンテンツとなります。

コンテンツの作成には、ICTに対する知識や技術も必要ですが、より重要なのは、児童生徒の実態を知る先生方のアイデアです。





動画や音声を活用した学び

□ ALTの発音動画で個人練習



外国語活動や外国語の授業で、ALTがいない時も、ALTの発音動画をタブレットに保存しておけば、それらを視聴しながら発音練習を行うことができます。動画ですので、繰り返し練習したり、ALTの口の動きをスローで再生しながら練習したりすることができます。課題に応じて個別に練習をすることもできます。

□ パート別の音声で個人練習



合唱の練習では、パートごとに練習内容が異なります。

タブレット端末の中に各パートの音源を保存することで、児童生徒はそれぞれのパートの音源を聞きながら歌の練習をすることができます。

また、児童生徒は、自分の苦手な部分や難しい部分を繰り返し練習する等、効果的な練習を重ねることができます。



繰り返し練習によるスキルアップ

□ 繰り返し練習



・タイピング練習

練習ソフトを使って、自分のペースで練習に取り組むことができます。繰り返しタイピングに取り組むことで、スキルの向上につながります。

・計算練習

計算ドリルアプリを使うことで、答えの正誤を自分で確認することができます。苦手な計算でも自分のペースで進められるため、集中して学習に取り組むことができます。

ICT活用に関する情報提供



熊本県教育センター
「ここからはじめるICT活用」

https://www.higo.ed.jp/center/jouhou/ict_katuyou



熊本県教育情報システム

<https://www.higo.ed.jp/colas/>

